

2019年12月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 第8回共産党党大会開催発表
- (2) 人民権力全国議会通常会期の開催
- (3) 通貨統合に関するヒル経済企画大臣の発表

2 外交

- (1) モラレス前ポリビア大統領のキューバ訪問
- (2) アズレ・ユネスコ事務局長のキューバ訪問
- (3) チャップマン閣僚評議会副議長のケニア訪問
- (4) ディアスカネル大統領のアルゼンチン訪問
- (5) コシーオ外務省米国総局長による米キューバ関係インタビュー
- (6) 第17回ALBA-TCP首脳会議の開催
- (7) 古屋総理特使のキューバ訪問

3 要人往来

- (1) 来訪
- (2) 往訪

【本文】

1 内政

(1) 第8回共産党党大会開催発表

19日、ラウル・カストロ共産党第一書記が第11回共産党中央委員会を開催した。大会にはミゲル・ディアスカネル大統領他が出席し、マチャード・ベントゥーラ党第二書記から、2021年4月16日から19日にかけて第8回共産党大会を開催する旨発表があった。

(2) 人民権力全国議会通常会期の開催

ア 20日から21日にかけて、人民権力全国議会通常会期が開催され、新首相他閣僚人事が行われた。新首相には、マヌエル・マレーロ・クルス氏が就任し、副首相にはラミロ・バルデス・メネンデス氏、ロベルト・モラレス・オヘダ氏、イネス・メリア・チャップマン氏、リカルド・カブリサス・ルイス氏、ホルヘ・ルイス・タピア・フォンセカ氏及びアレハンドロ・ヒル・フェルナンデス氏が就任した。副首相のうち、ヒル副首相以外はすべて元閣僚評議会副議長。ヒル副首

相は今後も経済企画大臣の役職を兼ねる。ホセ・アマド・リカルド・ゲラ氏（書記）も留任した。閣僚のうち、6名（労働社会保障大臣、観光大臣、エネルギー・鉱業大臣、食糧産業大臣、産業大臣及び中央銀行総裁）が新任となった。

イ 2019年の経済概観について、経済成長率は悪化しない見込みである旨説明があるとともに、観光開発、住宅建設、外国投資の拡大、輸出の増加、再生可能エネルギー及び食料生産分野の投資拡大が2020年の優先課題として指摘された。

ウ ディアスカネル大統領は、演説において、2019年の政策及びその実施について振り返るとともに、米国による経済・貿易・金融封鎖がキューバ国内産業、テクノロジーへのアクセス、外国資本及び国の歳入に大きな影響が出ている旨述べた。また、二重通貨制度についても言及し、通貨制度の正常化のため、方策の研究とその承認に向けプロセスが進展している旨述べ、同問題が持つ複雑さ、キューバ社会に与える影響の大きさに鑑み慎重な検討が行われている旨説明した。ディアスカネル大統領は、通貨統合のプロセスは、通貨の交換ではないことを確約し、銀行の外貨、兌換ペソ（CUC）及び人民ペソ（CUP）、並びに手持ちの現金の価値を保証する旨述べた。

（3）通貨統合に関するヒル経済企画大臣の発表

22日、ヒル経済企画大臣は、1米ドルが50人民ペソ（CUP）になるとの諸報道及び2020年1月1日から通貨統合が行われるとの議論を否定した。

2 外交

（1）モラレス前ボリビア大統領のキューバ訪問

6日、エボ・モラレス前ボリビア大統領は、診察のためにキューバを訪問した。同大統領は、2017年に声帯結節の治療のためハバナを訪問し、それ以前にもキューバ人医師による治療を受けたことがある。メキシコ外務省は、今回のキューバ訪問を「一時的なもの」と説明した。12日、同前大統領はキューバからアルゼンチンに向かった。

（2）アズレ・ユネスコ事務局長のキューバ訪問

6日、キューバを公式訪問中のオードレ・アズレ・ユネスコ事務局長は、ミゲル・ディアスカネル大統領と会談した。会談中、ユネスコとキューバの関係について意見交換し、その強化に向けて引き続き取り組むことを確認した。また、教育、文化、科学の発展及び情報コミュニケーション技術の活用についても強調した。アズレ事務局長は、5日、ブルーノ・ロドリゲス外務大臣とも会談した。

(3) チャップマン閣僚評議会副議長のケニア訪問

ア 9日から10日にかけて開催された第9回アフリカ・カリブ・太平洋グループ（ACP）サミットに出席するため、イネス・マリア・チャップマン閣僚評議会副議長（現副首相）はケニアを訪問した。サミットでは、キューバがこれまで186か国において、特に保健、教育、スポーツ分野にて協力し、100万人以上のキューバ人がカリブ、アフリカ、アジア、ラテンアメリカ諸国にて協力してきたことや、米国が保健分野におけるキューバと諸外国間の南南協力を破壊するための活動を加速させている旨発信した。

イ 10日、チャップマン閣僚評議会副議長は、ウルフ・ケニヤッタ大統領と会談した。会談中、双方は、引き続き共通の関心事項について関係を強化していく意志を表明した。ケニア側は、米国による対キューバ経済、貿易、金融封鎖に対するキューバへの支持を確認した。

(4) ディアスカネル大統領のアルゼンチン訪問

ア 11日、アルゼンチン大統領就任式に出席するためアルゼンチンを訪問中のディアスカネル大統領は、アルベルト・フェルナンデス大統領と会談した。双方は、二国間関係及び両国民間の歴史的な友好関係を強化していく共通の意志、及び経済・貿易関係を促進していくことの重要性を強調した。また、双方は、食品及び医薬品に関する交流を拡大していくこと、及び技術・調査分野での関係を強化していくことの重要性を強調した。ディアスカネル大統領は、クリスティーナ・フェルナンデス副大統領とも会談した。

イ ディアスカネル大統領は、2020年4月8日から10日にかけて第4回「国家と移民」会議の開催を発表した。

(5) コシーオ外務省米国総局長による米キューバ関係インタビュー

15日、カルロス・フェルナンデス・コシーオ外務省米国総局長は、米キューバ間の緊張関係の悪化についてAFP通信のインタビューに応じ、米国の対キューバ政策は、大使館閉鎖を含むすべての関係途絶につながりかねない旨言及した。

(6) 第17回ALBA-TCP首脳会議の開催

14日、ALBA設立15周年を記念して、第17回米州ボリバル同盟人民貿易協定（ALBA-TCP）首脳会議がハバナにて開催され、ディアスカネル大統領、ニコラス・マドゥーロ・ベネズエラ大統領、ラルフ・ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首脳及びダニエル・オルテガ・ニカラグア大統領が演説を行った。

ディアスカネル大統領は、「米国による犯罪的な封鎖の悪化」に言及し、キューバに対する行為は明日にも他の諸国に対して起こりうる旨指摘し、帝国による他国への攻撃を許すことはすべての国への攻撃の道を開くこととなる旨強調した。

同首脳会議では、主として米国による対中南米及びカリブ諸国政策を非難する内容の声明が採択された。

(7) 古屋総理特使のキューバ訪問

ア 19日から22日にかけて、古屋圭司総理特使（日本・キューバ友好議員連盟会長）はキューバを訪問した。訪問中、日・キューバ外交関係樹立90周年記念行事に出席するとともに、ディアスカネル大統領と会談した。会談中、古屋総理特使より、大統領就任への祝意を表明しつつ、安倍総理からの外交関係樹立90周年の祝意を伝達する親書を手交した。ディアスカネル大統領は、外交関係樹立90周年の機会に訪問いただき感謝する、古屋総理特使にはこれまで二国間関係の節目にキューバを訪問いただきしており、両国の友好関係を示している、今後も様々な分野につき協力していきたい旨述べた。古屋総理特使からは、この記念すべき慶節をキューバ国民と共に祝うことができ大変光栄である旨、キューバとの関係は、引き続き取り組みたい旨述べた。両者は二国間の経済関係、来年の東京オリンピック・パラリンピック、浜名湖で開催の国際釣り大会へミングウェイカップ、そして様々な国際問題について意見交換を行った。

イ 古屋総理特使は、マルセリーノ・メディーナ外務第一次官とも協議した他、大使公邸で開催された日キューバ外交関係樹立90周年祝賀レセプションに出席し、キューバ政府要人や議会関係者等、様々な分野の関係者と懇談した。

ウ 古屋総理特使は、ダリア・ソト・デル・バジェ・故フィデル・カストロ夫人、アントニオ・カストロ・キューバ野球連盟副会長（国際柔道連盟大使）と懇談した他、カサ・デ・アジアの日本語教室訪問、現地国営テレビのインタビュー、JICA研修生の日系人等との意見交換を行った。

3 要人往来

(1) 来訪

モラレス前ボリビア大統領

アズレ・ユネスコ事務局長

マドゥーロ・ベネズエラ大統領

ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首脳

オルテガ・ニカラグア大統領

古屋総理特使

(2) 往訪

チャップマン閣僚評議会副議長のケニア訪問

ディアスカネル大統領のアルゼンチン訪問